

「埋蔵文化財センターの方のお話を聞いて」

じーっと見つめ、つんつんとさわってみた。「これはなにかな？」と言いながら、頭の中で「んー？コンロ。」空想を広げ、考えて、こんなに大きいものを人の手で作っていて、それがこの世の中に役立っているってすごいなあと思いました。昔の人がこんなものを作っていなかったら、わたしたちの生活は変わってきているかもしれません。昔の人は、今の人より働く量が多くて、いろいろするのに楽になるために道具を作っていました。それを考える昔の人は、よく考えているんだなあと思いました。わたしは、便利なこの時代に生まれてよかったです。そして、昔の人に感謝したいです。わたしも、未来の人から感謝されるような便利なものを作りたいです。こんなことを教えてくれる歴史が大好きになりました。

昔においがした。大黒様ホールに入ったとき、すごいにおいがした。今日持ってきてくださったものの中に、粘土で作ったものらしき、土器みたいなのが何個かあった。それは、おわんやお皿だったので、ちょっときれいなのかな、って不思議に思った。あと、かりんとうみたいなのがあって、人の骨なのかなとか、いろいろ思った。特に、心に残っているのが、順位だ。新しそうなのが古かったり、古そうなのが新しかったり、全部見ただ目で考えていたけど、順位がちがっていたから、不思議だった。かりんとうみたいなやつが、鉄の矢の先にあるやつだと知ってびっくりした。形も色も思っていたのと違うからだ。もっと古いだらうと思っていたのに、さびていたからという理由で、すごく古く見えたのが、一番心に残っている。

「どんなものがあるのかな？」この授業が始まる前、ぼくは思った。埋蔵文化財センターから持ってこられた土器などが展示されていた。ぼくは、展示してあった鎌倉時代の鉄がよく分からなかった。弥生時代のくわが、ぼくは一番新しいと思っていたけど、3番目に古いことを知っておどろいた。石包丁は、見たときから包丁だなとは思っていたけど、あれでいねかりをしていたことを聞いて不思議に思ったことがある。それは、あの包丁がどれくらい切れるのかわからなかったからだ。今日はいろんな昔のものがあった、とても面白かった。

前日、埋蔵文化財センターの方が来られると聞いてすごくワクワクドキドキした。今日が待ち遠しかった。大黒様ホールに入ってドキッとした。なぜなら、いろいろな古代の道具があったから。どれも古くて、古い順になかなか番号をつけられなかった。一番新しいと思っていた「くわ」が3番目だってびっくりした。他にも古いと思ったものが新しかったり、新しいと思ったものが古かったりといろいろあった。そして、さわれないと思っていた。でも、さわれたのでよかった。いろいろなパンフレットをもらった。家に帰ったら、じっくり読んでみようと思った。本当に楽しかった。あまりできない体験ができてよかった。

「うああ、いっぱい土器があるう。」ぼくは、部屋に入ってわかった。お菓子のふんいきだ。活動が始まり、みんなが動き出した。「いろいろなものがある。」と言ったり、「初めて見た。」と言ったりする人がいた。ぼくは、いろいろなものを見てわかった。見つけるのにも手間がかかっているということが。ぼくは、原始人に興味があるので、これからも社会科の時間、しっかりと勉強して、社会科がわかるようになりたい。

つぼやお皿を触ってもいい時に、ざらざら外側はして、内側はつるつるしていることを発見しました。そして、縄文時代からちゃんといい形のつぼを作る技術があったことや、いちばん古い物だと思っていた鉄がいちばん新しい時代のものだと知りびっくりしました。土器を作るときの素材や手法についてももっと詳しく知りたいと思いました。鎌倉時代のあとの時代のものや、他にどんなものを使って作っていたのか、生活の工夫

などについて調べていきたいです。パンフレットに載っていた博物館にもぜひ行ってみたいです。

文化財センターの方の話を聞いて、文化財への興味がでました。いただいたパンフレットに書いてあった場所にも行ってみたいと思います。昔の物が今に活かされていることや、湖山池などの身近な場所にも貴重な道具が埋まっていることを知っておどろきました。東京などの都会にも埋まっている物があるのか疑問に思います。また、どんな場所で道具が見つかるのか調べてみたいです。これ機会にセンターに行き、発掘されたものやどんなものが今の時代に受けつがれているのか調査してみたいと思いました。

今日、埋蔵文化センターの方の話を聞きました。楽しい話でした。縄文時代や弥生時代、古墳時代、鎌倉時代の道具とかを持ってきてもらいました。見ていて気づいたことは、縄文時代の道具は、粘土みみたいなもので作られていたけれど、それに対して、弥生時代の道具は、木を使った物が多かったです。古墳時代の道具も粘土で作られていて、鎌倉時代は銅の鏃などがあったので、時代ごとに物の素材は変わっていくことがわかりました。疑問に思ったことは、なぜ縄文時代と古墳時代だけ、粘土状の物を使用したのか不思議に思いました。新たに調べたいことは、家の庭を掘って何かが出てくるのか確かめたくくなりました。

私が気づいたことは、昔の人は手間ひまをかけて道具を手作りしているということです。木などで鏃を作ったりしているのですごいと思いました。私が発見したことは、出土品の中の茶碗の数の多さにびっくりしました。私が疑問に思ったことは、歴史の中でスタートはどんなことがきっかけになったのかということです。縄文時代より前には人間が存在したのか、なぜ一年という期間ができたのか、歴史に関することとしてとても疑問に思いました。新たな願いは、いつか未来で、過去に行けるようになって、自分が知りたい歴史のなぞを全て解き明かしたいという願いができました。